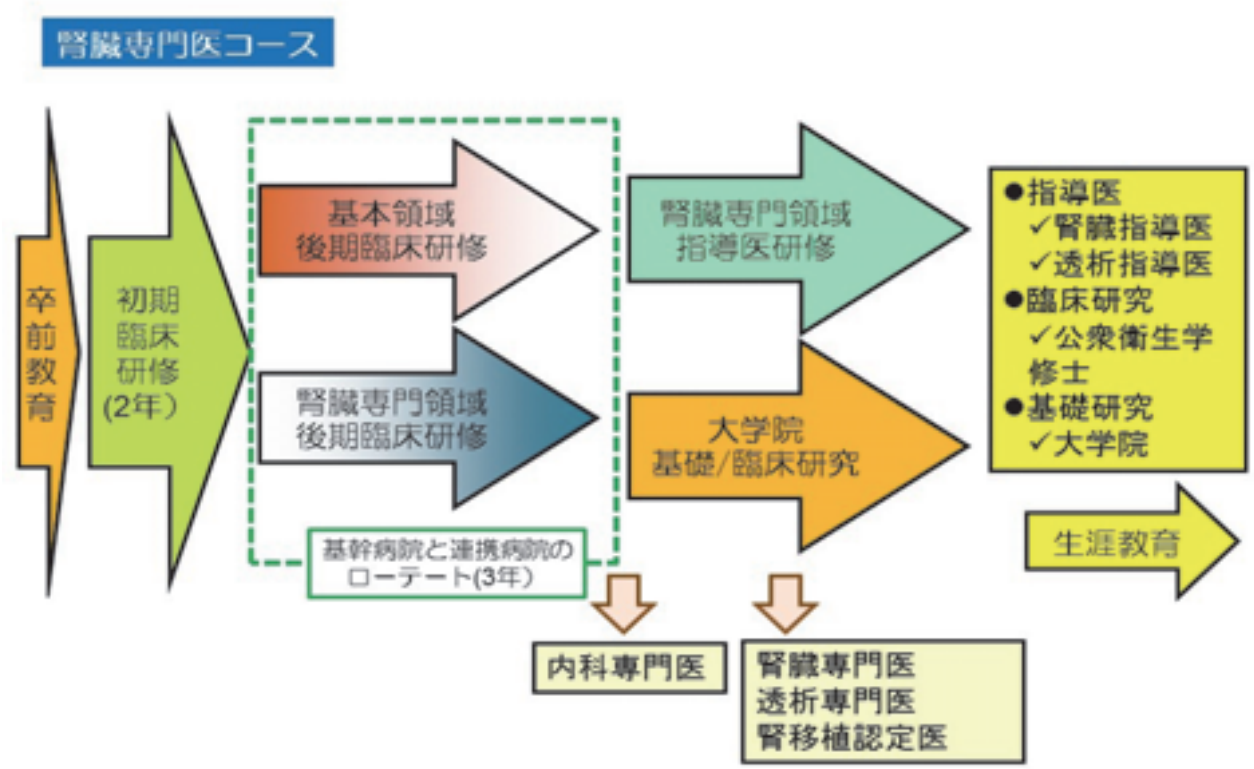
内科専門研修プログラム

サブスペシャルティ重点コース ／ 腎臓内科コース

（１）コースの全体像

内科医としての総合的能力を補うとともに、腎臓専門医として独り立ちできるように指導を行います。内科専門医を取得するためには、３年目以降もひき続き幅広い診療領域に関わる必要がありますが、腎臓内科は、多くの診療科からコンサルテーションをうけて連携体制となるため、循環器疾患、内分泌代謝疾患をはじめとして、常に多様な症例が経験可能です。また、大阪大学が中心となり、定期的な症例検討会や研究会を開催し、互いの臨床経験や知見を共有することで、関西一円の主要病院腎臓内科と密接な医療連携を図り、診療レベルの向上と新しい医療の発信を行っております。大阪大学および関連病院で研修を行うことにより、内科専門医を取得した上で、腎臓専門医・指導医、透析専門医・指導医、腎移植認定医（日本臨床腎移植学会）の資格を取得できるように指導します。なお、研修プログラムの選択は専攻医の希望を聞いたうえで決定します。



（２）コースの概要

下記は阪大腎臓内科関連の基幹プログラム一覧ですべてのプログラムにおいて、大阪大学医学部附属病院は連携病院になります。詳細や最新の情報は日本専門医機構や内科学会ホームページを参照ください。

<table>
<tr><th>プログラム基幹病院名（連携病院）
（連携病院は腎臓内科がある病院を中心に記載）</th><th></th></tr>
<tr><td>大阪大学医学部附属病院
(市立池田病院、市立豊中病院、淀川キリスト教病院、日本生命病院など)</td><td rowspan="17">診療科名
腎臓内科など

目　的
・慢性腎炎の診断・治療
・腎不全の治療水・電解質管理
・腎移植患者管理

指導者数：2-７名

受入数：プログラム毎に
各学年1-３名</td></tr>
<tr><td>大阪急性期・総合医療センター
(市立東大阪医療センター、大手前病院、県立西宮病院など)</td></tr>
<tr><td>大阪労災病院
(大阪南医療センター、関西労災病院、堺市立総合医療センター、県立西宮病院など)</td></tr>
<tr><td>大阪南医療センター
(大阪労災病院、大阪医療センター、堺市立総合医療センター、大阪急性期・総合医療センターなど)</td></tr>
<tr><td>市立東大阪医療センター
(大阪急性期・総合医療センター、大手前病院、県立西宮病院など)</td></tr>
<tr><td>大手前病院
(市立東大阪医療センター、大阪急性期・総合医療センター、大阪医療センターなど)</td></tr>
<tr><td>大阪医療センター
(第二大阪警察病院、大阪南医療センター、大手前病院など)</td></tr>
<tr><td>第二大阪警察病院
(大阪医療センター、日本生命病院、大阪南医療センターなど)</td></tr>
<tr><td>JCHO大阪病院
(日本生命病院、JCHO大阪みなと中央病院、関西労災病院など)</td></tr>
<tr><td>日本生命病院
(JCHO大阪病院、JCHO大阪みなと中央病院、大阪南医療センターなど)</td></tr>
<tr><td>市立豊中病院
(市立池田病院、県立西宮病院、関西労災病院など)</td></tr>
<tr><td>関西労災病院
(県立西宮病院、大阪労災病院、大阪医療センター、大阪急性期・総合医療センター、市立豊中病院など)</td></tr>
<tr><td>県立西宮病院
(関西労災病院、市立豊中病院、大阪急性期・総合医療センターなど)</td></tr>
<tr><td>淀川キリスト教病院
(堺市立総合医療センター、貴生病院など)</td></tr>
<tr><td>市立池田病院
(市立豊中病院、大阪医療センター、県立西宮病院など)</td></tr>
<tr><td>堺市立総合医療センター
(大阪労災病院、淀川キリスト教病院など)</td></tr>
</table>

（３）コースの実績

本学及び関連施設はいずれも、腎生検数 50-150 件/年、透析ベッド数 8-20 床であり、慢性腎炎から慢性腎不全・透析に至るまで腎臓内科医として十分な臨床経験が可能です。内科専門医取得後も、各診療科のコンサルテーションをうけており、内科専門医としての幅広い臨床経験を積むことが可能です。また本学関連施設では、年間 50 症例の腎臓移植を行っており、腎移植患者の内科的管理を学ぶこともできます。

（４）コースの指導状況

本学および関連施設はいずれも、日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会の認定施設であり、慢性腎炎の診断・治療、腎不全の治療、水・電解質管理および腎移植患者管理ができるように指導を行い、内科専門医、腎臓専門医・指導医、透析専門医・指導医、腎移植認定医の資格を取得できるように指導します。

（５）専門医の取得等

資格名 （学会等名）	1）内科専門医　（日本内科学会） 2）腎臓専門医　（日本腎臓学会） 3）透析専門医　（日本透析医学会）
資格要件	1)　内科専門医は教育病院での5年研修、200例の経験症例の登録、29症例の病歴要約、JMECC受講等のうえ、筆記試験合格で取得。 2)　最低3年間の認定施設でのカリキュラム研修ののち、腎疾患患者症例の要約提出し、筆記試験合格で取得。
【学会の連携等の概要】 大阪大学および関連病院はいずれも内科学会・腎臓学会・透析医学会認定教育認定施設であり、大阪大学、大阪急性期・総合医療センターおよび県立西宮病院では、腎移植患者の内科管理を学ぶことが可能である。また、腎臓内科専攻医に対する腎移植外来・実習見学プログラムも設けている。	

注：上の地域ごとの施設連携をベースとして、現在は地域をまたいで幅広く連携体制をとっています。

問い合わせ先

■大阪大学医学部附属病院　腎臓内科
担当者　水井　理之
mmizui@kid.med.osaka-u.ac.jp
TEL: 06-6879-3857
診療科ホームページ　http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/kid/kid/index.html